



くまもとみ

広報

NO.429

平成21年3月
2009.

3

新たな進路へ…

3月13日、県北中学校で卒業式が行われ、先生や在校生、保護者の見守る中110名（男57名、女53名）に卒業証書が授与されました。

卒業生は、3年間の思い出の詰まった学び舎から、新たな進路に向かって巣だっています。

式後は、校舎の内外で恩師や後輩と握手をして別れを惜しむ姿が見られました。

◆ 今月のおもな内容 ◆

歴史的遺産の復活に向けて……………	2
行政評価(事務事業評価)の試行について……………	6
住民異動の手続きを忘れずに！……………	8
もうすぐ1年生……………	11
2月のできごと……………	12
保健だより……………	13
くらしの情報……………	14
生涯学習つうしん……………	16

歴史的遺産の復活に向けて

町指定文化財「阿津賀志山三十三観音・八十八大師画像碑群」の整備については、阿津賀志山三十三観音・八十八大師めぐり交流事業として、トライアングルクラブ（井砂由男会長）が実施主体となり、「福島県地域づくり総合支援事業（サポート事業）」の補助を受けて、平成20年度、21年度の2ヶ年計画で実施されます。その計画の概要と平成20年度の整備内容を紹介いたします。



▲画像碑群を示す石碑

▲碑群は阿津賀志山東側中腹斜面と山頂付近に数多くあり、観音像・大師像が刻まれています。

阿津賀志山三十三観音・八十八大師めぐり交流事業

〔事業の概要〕

この事業は、町のシンボルである阿津賀志山に散在する町指定文化財三十三観音・八十八大師画像碑群の所在確認調査及び記録を行うとともに、碑群の歴史的な価値を明らかにし、案内板等を整備するなど、将来に向けて歴史的遺産を保存・継承することを目的としています。

また、昭和40年代まで開催していた大師祭りを再生復活させ、地域間の交流促進を図っていきます。さらに、信仰のみならず

阿津賀志山周辺整備による観光資源化の取り組みに弾みをつけ、町内外からの誘客拡大と地元産品の販売促進が可能となり、町内産業と経済の活性化が期待できると考えております。

〔事業計画〕

- ▽平成20年度事業
- ▽ボランティアによる碑群確認調査。
- ▽測量による画像碑群の位置の特定。
- ▽専門家による画像碑群の調査及び記録。

〔平成21年度事業〕

- ▽案内板、標識等の整備。
- ▽大師祭りの再生復活。
- ▽イベント（探訪会等）の開催。

〔事業終了後の取り組み〕

- ▽大師祭りを年中行事化する。
- ▽道の駅整備と連携し観光資源化する。
- ▽ボランティアによる参拝路の保全と探訪会の恒例化。
- ▽四国や関東の各県の関係市町村との交流。
- ▽全国の大師信仰イベントとの情報交換と交流。
- ▽来町者への地元産品のPRと販売促進。
- ▽地元産品の消費拡大。



本尊仏 十一面観音立像
西国三十三観音第八番長谷寺



弘法大師座像
(佐藤瑞雄氏所蔵)

阿津賀志山三十三観音・八十八大師画像碑群とは

嘉永5年（1852年）頃、伊達郡二野袋村（現在、伊達市梁川町）の行者仏源（木村源右衛門）の発願により、四国八十八ヶ所、西国、秩父、坂東百観音を回国巡礼し、その時に得た観世音菩薩と弘法大師の画像を奉納すべく、国見山経ヶ岡の東腹に、一宇の大師堂と草庵の建立を信達両郡の信者に奉加助成を呼びかけた。願うところは天下泰平・五穀成就・万民悦楽である。仏源はその報恩として、一石一体の尊像を石に刻み込むため、一人一分の積立を行ったといわれ、仏源の宿願成就については、地元西大窪村（大木戸）世話人の助力に負うことが大きかった。



その後、大師堂は野火で消失したが、弘法大師の尊像は運び出されて、木村家に現存されている。ご縁日は旧暦3月21日、昭和40年頃までは行われており、祭礼時ののぼり旗は現存する。
(平成20年度出前町民講座ふるさと歴史教室2/21開催資料より)

三十三観音・八十八大師
所在確認調査・拓本採取

阿津賀志山に散在する碑
群の所在確認については、
土地所有者の協力を得て昨
年12月2日から2日間かけ
て行われ、合計113体の
観音画像碑・大師画像碑が
確認されました。

拓本採取については、専
門的な技術を習得している、
町郷土史研究会（小川恵見
会長）が、1月26日から2
月18日にかけて行い、新た
に所在確認されたものを含
め120体の観音画像碑・
大師画像碑の拓本を採取し
ました。

国見町郷土史研究会
会長 小川 恵見さん

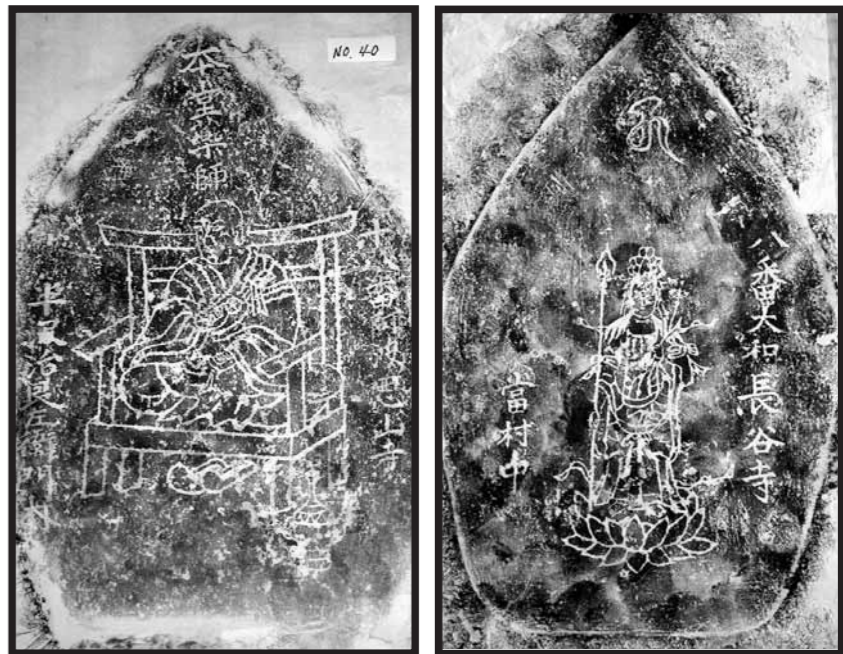


福島県地域づくり総合支援事業「阿津賀志山三十三観音・八十八大師めぐり交流事業」関係の方々より、その拓本採取を要請され、120体の拓本を採取しました。

寒中の作業ということで、気象条件のことが大きな悩みでした。何しろ作業員の大半が後期高齢者です。それでも以前本会で「拓本展示」をした経験を生かし、暖冬の天候にも恵まれ、その全部を採取することに成功しました。

江戸時代、信達地方の信者の方々が西国三十三観音、四国八十八大師の像を刻印したもので、寄進者の氏名や観音様、大師様のお姿も鮮やかです。

国見町郷土史研究会では、平成21年度の文化祭にはその全部を公開展示する予定です。



拓本に取られた弘法様の椅像（写真左）、観音様の立像（写真右）



拓本取りを行っていただいた郷土史研究会の皆さん



採取された120体の拓本



画像碑の拓本取り作業の様子

西国三十三観音巡礼
西国三十三観音巡礼は、近畿2府4県と岐阜県に点在する33ヶ所の観音霊場の総称。これらの霊場を札所とした巡礼は、日本で最も歴史がある巡礼行であり、現在でも多くの参拝者が訪れています。
「三十三」の数については、「法華経」、「観世音菩薩普門品」所説の観音菩薩が衆生を救うとき、33の姿に変化するという信仰に由来すると言われています。西国三十三ヶ所の観音菩薩を巡礼参拝すると、現世で犯したあらゆる罪業が消滅し、極楽往生できるとされています。

四国八十八ヶ所巡礼

四国八十八ヶ所霊場巡礼は、弘法大師が42歳のときに修行の場として創設したと言われている。八十八ヶ所を大師の弟子たちが巡回し始めたことから始まりました。人間の煩悩は八十八個あると言われており、それが八十八ヶ所を巡礼することで消えてなくなると考えられたのです。室町時代には、多くの僧侶が修行のために巡礼を行ったと言われています。

道の駅『基本計画』策定に向けた取り組みを進めています

プロポーザル方式により
基本計画策定業者選定

1月16日、道の駅の基本計画策定業務を委託するにあたり、プロポーザル方式で県内外から4社を指名し、義経ゆかりの地や町のシンボル阿津賀志山など、町内の情報発信とPR、町の特産品の販売などを含めた多彩なアイデアについて提案を求めました。
審査は、須田善治副町長を委員長に道の駅整備推進委員会委員、町担当課長ら10人で構成する審査委員会が行い、最も点数が高かった清水公夫研究所（郡山市）を選定しました。

※プロポーザル方式とは？
業者が提出する提案書・計画書等を比較・検討して決定するシステムのことです。



▲担当者から説明を受ける道の駅整備推進委員会委員の皆さん

全国2位の集客力を誇る
道の駅を視察研修

2月24日、道の駅整備推進委員会では、全国の道の駅の中で第2位の年間約350万人もの集客力を誇り、6年連続増収となつています宮城県大崎市の「あ・ら・伊達な道の駅」を視察しました。
のどかな田園にあるモダ



▲2月24日開催された第3回道の駅整備推進委員会

年度内に基本構想策定

今後は業者の計画案をもとに、道の駅整備推進委員会の意見などを受けながら、3月末までに道の駅のコンセプトや設置場所などを含む基本計画を策定します。

ンな洋風の建物に、新鮮な農産物を集めるため、農家と売り場を携帯電話で結び、売り場には常に「完熟」な野菜が並んでいます。「地産地消」を超える「旬産旬味」、四季の香りを提供する供給体制を大切にしています。

これからのまちづくりのために

振興計画審議会を開催

町では、平成13年度から平成22年度までの10年間にわたるまちづくりの指標である「第4次国見町振興計画」に基づき、町政運営を行っております。

2月20日、第4次国見町振興計画の実現に向け、具体的な事業を審議検討するため、第9回国見町振興計画審議会が開催されました。一般公募委員3名を含む22名の委員の皆さんへ佐藤町長から辞令が手渡され、正副会長に朽木勝之町農業委員会会長、松浦幹男町消防団団長を選出しました。

今回提出された計画では、平成21年度に町で実施する事業は13事業、事業費総額約1億8千9百万円に及びます。

出席委員からは、小坂地区緑住区整備、雇用促進住宅購入問題など多岐に渡る発言をいただきました。

町では、今後とも町民の皆様からのご意見を踏まえながら、計画の推進を図っていく考えです。



全職員が受講した担当者研修会



評価内容の点検会



行政経営幹部研修会

平成20年度行政評価結果のお知らせ

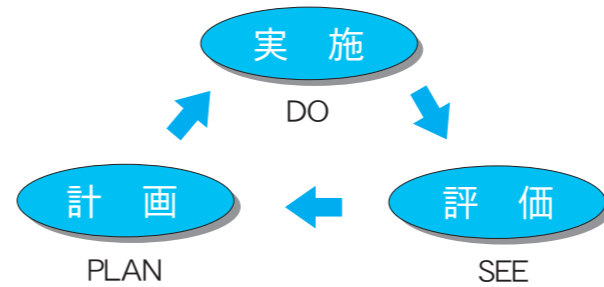
行政評価（事務事業評価）の試行について

町では、効果的かつ効率的に行政運営を進めるとともに、町の仕事を町民の皆さんに説明するため、事務事業の一部に「行政評価システム」を導入しました。今後、町が目指す行政評価システムと今年度の評価結果の概要について説明します。

行政評価（事務事業評価）の導入

国見町では、町が行う事業の目的を明確にし、計画（PLAN）、実施（DO）、評価（SEE）の経営サイクルを町の行政運営に取り入れるため、行政評価を試行することとしました。行政評価には、自治体によって様々な方式が採用されていますが、国見町では町が実施する事務事業を評価の単位とする「事務事業評価」という方式を採用することとしました。そのねらいは、町が実施している事務や事業が「目的を達成

事務事業評価システムとは



事務事業評価システムとは、目的妥当性、有効性、効率性、公平性の視点で、町が実施する事業がどのような成果（実績）に結びついているかを評価し、洗い出された課題や問題点を解決するための計画を立て、それを実行していくというシステムです。また、評価を行うにあたっては、町の組織が「PLAN・DO・SEE」を実践するとともに、その内容を公表することで、効果的・効率的で質の高いサービスの提供を目指すだけでなく、町民の皆さんに対する

試行の経過について

行政評価を試行するにあたっては、9月26日に町議会議員全員と町長以下町幹部職員による合同の研修会を開催しました。この研修会では、国見町が抱える問題の構造化の作業を通して、国見町の現状と課題について議論が行われました。その後10月から、課長、担当者ごとに具体的

る説明責任を果たします。

な評価研修を行い、現場から評価を集約しました。また、国見町では単に事務事業を評価するだけでなく、担当課で出された課題（のべ22事業）のうち、「複数の課が関係する課題」や「担当課だけでは解決が難しいと思われる課題」の合わせて8事業を全庁的な観点から議論するために、町長、副町長、教育長と全ての課長が一堂に会する2次評価会議を12月17日と24日に開催し、町としての方向性を決定いたしました。このように、今後は評価のための評価ではなく、組織としての意思決定の方法としても行政評価の手法を活用してまいります。なお、評価内容は、町の内部資料にとどめることなく、町民の皆さまに公表することによって、広く様々なご意見をいただきながら、次年度に向けた改善を続けます。

評価の結果について（2次評価で議論された8項目と今後の改善点）

事業名・担当課	今後の改善点
防火水槽整備事業【住民生活課】	・他の課において実施する設計委託等と一緒に、建設課に事業を移管できるか行革本部会議で検討することとする。（2月12日開催の第23回行財政本部会議において建設課への移管を決定）
個人町県民税賦課業務【税務課】	・未申告者には、封書や特別な文言を入れるなどして案内する。 ・未申告者への催告に工夫をこらす。
放課後児童健全育成事業【保健福祉課】	・平成21年度より新たに、森江野幼稚園において藤田小学校以外の1年生から3年生の放課後学童保育を実施する。森江野小学校以外の児童の移送は、まちなかタクシーやシルバー人材センターを活用することとし、所要額を平成21年度当初予算に計上する。（平成21年度予算ではシルバー人材センターに移送業務を委託するため所要額を計上した。）
道路台帳管理事業【建設課】	・台帳補正の委託を早めに発注することで、道路台帳のデータを早めに活用できるようにする。
義経まつり【企画情報課】	・実行委員会と町の役割分担について、実行委員会の場で議論してもらう。 ・「民間」主導の実行委員会となるよう複数年度にわたる移行の方法を検討する。 ・毎回仕切り直しの単発的な実行委員会ではなく、固定した組織とするための方法を議論する。 ・4月中に実行委員会を開催する。
国見町農地流動化対策事業【産業振興課】	・遊休農地対策や農地流動化について、幅広い視点から、全体的な方向性を農業委員会に諮り、平成22年度からの事業見直しを検討する。
漏水調査事業【上下水道課】	・より多くの漏水箇所の特定に努める。
芸術文化鑑賞事業【生涯学習課】	・（町が主催する芸術文化鑑賞事業は）自主事業のあり方、貸館のあり方、事業に関わる経済波及効果等をふまえ、芸術文化事業の理念、町の役割を前提にしながら個別に事業評価をすすめていく。 ・（町が主催する芸術文化）事業時に実施する緩やかな物販の基準を設ける。 ・指定管理者や業務委託の検討については、すべての公共施設を対象とする。

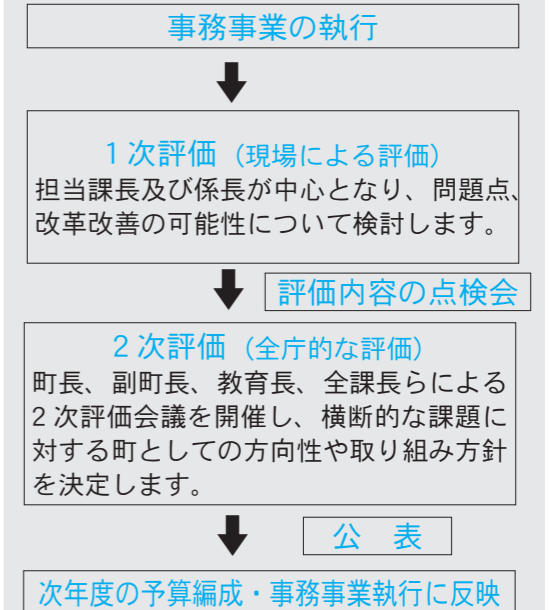
※事務事業評価の内容は、町ホームページでご覧になれます。

皆様からのご意見をお待ちしています。

お寄せいただいたご意見は、これからの行財政改革の参考とさせていただきます。なお、ご意見等につきましては、FAX・電子メールでもお寄せいただけます。また、行財政改革の情報については、町のホームページでご覧になれます。

「国見町の行財政改革」ホームページ <http://www.town.kunimi.fukushima.jp/frame/gyouzaisei-f.html>
◆問い合わせ 総務課庶務行革係 ☎585-2113 FAX585-2181 E-Mail: somu@town.kunimi.fukushima.jp

【国見町の行政評価（試行）の流れ】



住民異動の手続きを忘れずに！

3月、4月は就職や転勤、進入学のシーズンです。引越される方も多いと思いますが、忘れてならないのが住所の届出です。この時期は、役場住民生活課の窓口が大変混雑しますので、必要な届出は早めに手続きを済ませましょう。



届出は時間に余裕を持って

町内から転出される方や新たに国見町民となられる方は、住所変更の手続きを忘れずに行ってください。住所を変更するときは、役場への届出が必要です。届出をしないと、選挙ができなかったり、年金や児童手当などの給付を受けられなかったり、入学や健康診断などにまで影響が出てきます。この時期は、窓口が混みあうことが多くなりますので、時間に余裕を持ってお

住民異動の主な届出

こんなとき	種類	届出に必要なもの	届出期限
ほかの市区町村から転入したとき	転入届	・転出証明書 (前住所地で発行したもの) ・国民年金手帳、国民健康保険証(加入者のみ) ・介護保険受給資格証明書(資格者のみ) ・印鑑 ・小中学生がいる場合は在学証明書 ※本人を確認する書類	引越した日から14日以内
ほかの市区町村へ転出するとき	転出届	・印鑑 ・国民健康保険証、後期高齢者医療保険証、介護保険証(加入者のみ) ・印鑑登録証(登録者) ・住民基本台帳登録カード(登録者) ・町民カード(登録者) ※本人を確認する書類	転出する前日まで
町内で住所を変更したとき	転居届	・国民健康保険証、後期高齢者医療保険証、介護保険証(加入者のみ) ・印鑑 ※本人を確認する書類	転居した日から14日以内
世帯主が変わったとき	世帯主変更届	・印鑑 ・国民健康保険証(加入者のみ) ※本人を確認する書類	変更があった日から14日以内

いでください。必ず本人か世帯主が届出をしてください。本人か世帯主が届出に來ることができないときは、本人又は世帯主が書いた代理人選任届(または委任状)と代理人の印鑑を持って届出をしてください。また、届出に來られた方の本人確認する書類が必要です。※本人を確認する書類(1)一点で確認できるもの(写真付き)

- ・運転免許証
- ・住民基本台帳カード
- ・旅券(パスポート)など
- ②二点で確認できるもの
- ・健康保険証
- ・年金手帳または年金証書
- ・住民基本台帳カード(写真なし)など

直の職員が受け付けています。また、戸籍謄(抄)本、住民票の写しの証明書は、郵便請求もできます。

他の手続きも忘れずに

住所が変わると、住所変更届以外にも、上下水道、医療保険、納税などの手続き

きも必要です。「手続きの問い合わせ先」を参考に早めに手続きをしてください。なお、印鑑や保険証、身体障がい者手帳など、必要なものをあらかじめ電話で確認した上でおいでになると、一度に手続きができます。また、電気や電話、ガス会社への連絡も忘れずに！

手続きの問い合わせ先

- 【住民生活課】
 - ・戸籍、住民票、印鑑登録、住民異動届…☎585-2115
 - ・国民年金、ごみ収集…☎585-2116
- 【保健福祉課】
 - ・国民健康保険、老人医療、後期高齢者医療、小学生乳児医療…☎585-2785
 - ・障がい者福祉、生活保護、児童手当、保育所…☎585-2793
 - ・高齢者福祉、介護保険…☎585-2125
 - ・予防接種、母子手帳、健康診断…☎585-2783
- 【税務課】
 - ・納税関係…☎585-2780
- 【上下水道課】
 - ・上水道…☎585-2997
 - ・下水道…☎585-2984
- 【学校教育課】
 - ・小中学校の転校…☎585-2892

税務課からのお知らせ

今年、土地・家屋の評価額について、3年毎に見直しを行う評価替えの年にあたります。そのため、平成21年度の固定資産税納税通知書は、5月上旬頃に発送いたします。(第1期分の納期限は、6月1日(月)です。)

土地・家屋価格等縦覧帳簿の縦覧について

- ◆縦覧期間
 - 4月1日(水)～6月1日(月)まで(土・日・祝日除く)
 - 午前8時30分～午後5時15分
- ◆縦覧できる方
 - ①納税義務者(同一世帯の親族含む)
 - ②納税管理人
 - ③①及び②の委任状を持参した方
- ◆必要なもの…申請人(窓口に来た方)であることを証明するもの(運転免許証、健康保険証等)、印鑑
- ◆手数料…無料

固定資産税課税台帳の閲覧について

- ◆閲覧できる方
 - ①納税義務者(同一世帯の親族含む)
 - ②納税管理人
 - ③借地人、借家人
 - ④当該固定資産を処分する権利を有する一定の人
 - ⑤①～④の委任状を持参した方
- ◆必要なもの…申請人(窓口に来た方)であることを証明するもの(運転免許証、健康保険証等)、印鑑(法人の場合は登録印)、借地人・借家人等は契約書等、処分する権利を有する一定の人はそれを証する書類
- ◆閲覧期間…4月7日(火)～6月1日(月)まで(土・日・祝日除く)
- ◆手数料…1件300円(納税義務者は上記の期間は無料)
- ◆詳しくは、お問い合わせください
税務課課税係 ☎585-2778 又は 585-2779

春の全国交通安全運動

- スローガン「じこがない そんなまいにち うれしいな」
- 期間 4月6日(月)～15日(水)までの10日間
※4月10日(金)は「交通事故死ゼロを目指す日」
- 運動の基本
子どもと高齢者の交通事故防止
- 運動の重点
- ・全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
 - ・自転車の安全利用の推進
 - ・飲酒運転の根絶



↑〇×クイズ、最後まで残った園児はだれかな？(藤田幼稚園)

全員で記念写真、アットホームな感じがとてもグウ〜！(森江幼稚園)→



2月26日、藤田・森江幼稚園では、「お別れ会」が行われました。

歌を歌ったり、クイズやゲームなどをして楽しく過ごしました。

いっしょに遊び、学んだ年長児は4月からそれぞれの小学校に進みます。



離れても友達だよ
幼稚園でお別れ会

もうすぐ1年生



インタビュー Q: 1年生になって何がしたいですか？



A: イスにきちんとすわって、先生のお話をよく聞きたいです。
勉強をがんばりたいです。

まつうら わかな さん(森江幼稚園)



A: 勉強で100点とりたいです。
校庭をすごいスピードで走りたいです。
1年生から6年生まで友達をつくりたいです。

たけざわ かずほ くん(藤田幼稚園)

鈴木もも 舟山仁 高田正 阿部将 岩野一 吉田航 本田直 秋葉歩 菊地璃 菊地順 市川愛 南春 佐久間琴 川見菜 鈴木愛 鈴木琴 栗原陽 高橋冬 黒田雄 岩城綾 佐藤めぐみ 藤田小 55名

熊谷日花留 鳴原杜和 村上博典 村崎那 岡崎那 花那 宗像健志 市川玲音 一川愛珠 内村玲奈 洪谷萌香 田口萌香 佐藤理香 大久愛寿花 菊地凛 須藤謙斗 工藤彰悟 渡邊耕太郎 源田彩心 安藤結心 三浦拓真 半澤譲一

小坂小 7名
安藤憲治 阿部仁洋 若生恵実 遠藤由香 熊倉拓也 黒田拓也 遠藤咲帆

平成21年度小学校新入学児童85名(敬称略)

大枝小 5名(国見町分)
鈴木ほのか 鈴木伶治 佐藤穂波 岩野元南

大木戸小 7名
岡田裕貴 岡田雪乃 阿部里美 三浦悠人 松浦若人 松田秀平 松田駿太郎 桜澤平

森江野小 11名
伊藤大樹 伊藤朱李 吉田莉愛 吉田聖翔 齋藤温翔 齋藤祥羽 齋藤温翔 齋藤祥羽 鈴木楊永 村上聖那 村上聖那

橋本郁実 仲野知花 小針一穂 仲野知花 樋口桃の 小早川咲紀 安彦美優 保坂百香 八島空斗 佐々木日翔 鴨田正太 武澤和歩 渡辺一華 佐藤奏汰



家族に囲まれて 100歳賀寿祝

佐藤キヨエさん 明治42年2月10日生

2月10日、満百歳を迎えた佐藤キヨエさん(宮町北)へ、吉川三枝子県北地方振興局長から、知事賀寿と記念品が手渡され、佐藤力町長からは敬老祝い金、佐藤忠美議長、ひ孫の佐藤悠貴くんからは花束が贈られました。さらに、黒澤一八町寿クラブ連合会長からも記念品が贈られました。

お祝いには、親戚の方々が詰めかけ、3男の富三郎さんが、「今後も今まで以上に母を支えていきます。」と御礼を述べました。

キヨエさんは、90歳頃まで店番をするなどの働き者で、「何事につけても前向きなところ」が長生きの秘訣と話してくださいました。



県文化振興基金顕彰

国見町郷土史研究会

国見町郷土史研究会(小川恵見会長 会員246名)は、長年にわたる、町の歴史や文化財の調査研究活動が評価され、福島県文化振興基金顕彰表彰を受賞されました。

表彰式は、2月19日に杉妻会館で行われ、理事長の佐藤雄平福島県知事から小川会長へ表彰状などが授与されました。

町郷土史研究会は昭和46年設立され、昭和48年には会報「郷土の研究」を創刊、多彩な内容を盛り込んで発行を継続し、これまで38号を刊行しております。また、文化祭における企画展や歴史講演会などを催すほか、町の文化財保護事業にも協力しております。

食育だより

町では、食生活改善推進員の皆さんと栄養士が出向いて、各保育所の子どもたちを対象に、食育教室を開催しています。
2月4日は、藤田保育所において、左記の内容で実施しました。

- ◇テーマ バランスよく食べよう。
～食育カルタを使って栄養素の働きを理解しよう～
- ◇目的 食育カルタを使って、遊びながら食べものの働きを理解する。



カルタを取った人から抜けていきます。



取ったカルタを1人ひとり栄養素別に振り分けました。



保健だより

保健福祉課 保健係 TEL(585)2783
hoken@town.kunimi.fukushima.jp

*** ニコニコ相談会 ***

平成 21 年 4 月から一部内容を変更します。新たに妊婦さんの相談も受け付けます。また、子育て支援センターの「子育てひろば」（親子自由遊び等）と一緒に開催します。会場を確認の上お越しください。

対象者	実施日	受付時間	会場
国見町在住の妊婦、 国見町在住の乳幼児及びその保護者	5月7日(木)	午前9時30分～ 午前11時30分	子育て支援センター (藤田保育所内)

【実施内容】身体測定、栄養相談、子育て相談等について保健師、栄養士がお待ちしております。
《持参するもの》母子健康手帳、お子さんの飲み物（水筒に入れて）を忘れずに！
《申し込み方法》前日まで保健福祉課または藤田保育所（☎585-2374）に電話でお申し込みください。

*** 乳児健診 ***

該当児	実施日	受付時間	会場
・3か月児（平成21年1月生まれ） ・9か月児（平成20年7月生まれ）	5月21日(木)	午後1時15分～ 午後1時45分	観月台文化センター 第1和室

【健診内容】医師の指導、身長・体重測定、調乳、離乳、予防接種などについて
《持参するもの》母子健康手帳を忘れずに！

*** 3歳児健診 ***

該当児	実施日	受付時間	会場
平成17年10月1日～ 平成17年12月10日生まれの幼児	5月14日(木)	午後1時15分～ 午後1時45分	観月台文化センター 大研修室

【健診内容】
・内科と歯科の医師の診察、生活保健指導、視力、聴力検査などを実施します。
・臨床心理士による相談・指導…子育てに関する不安や悩み等、お気軽にご相談ください。
・健診該当者には後日健診票を郵送します。
《持参するもの》母子健康手帳を忘れずに！

*** ポリオ集団予防接種（平成21年度実施日程について） ***

実施日	対象乳幼児	受付時間	会場
平成21年5月12日(火) 平成21年5月19日(火) 平成21年10月7日(水) 平成21年10月14日(水)	実施日に満3カ月から90 月未満までの1回もしくは 2回未投与の乳幼児	午後1時15分～ 午後1時45分	観月台文化センター 第1和室

※注意すること…6週間以上の間隔で2回投与します。（5月・10月各2日間の内、都合の良い日においで下さい）
《持参するもの》ポリオの予防接種予診票を記入し、母子健康手帳と一緒に持ちください。

健（検）診について

○平成21年度各種健（検）診についての調査「健康管理世帯調査台帳」への記入、提出はお済みでしょうか。（町内会の健康推進員経由で配布、回収しています。）

その際の記入に関するお知らせでもご案内しておりますが、平成20年4月からスタートした特定健診（対象：40歳以上75歳未満）は各医療保険者が実施するため、町国保加入者については「総合検診」にあわせて行います。

町国保以外（被用者保険）に加入している被扶養者の方は、加入している医療保険者の指定する健診機関での受診となりますが、指定健診機関に市町村実施の特定健診会場が含まれている場合は、町が国保加入者に行う「特定健診」（5月25日～30日、6月2日～5日・8日・9日）時に受けることができます。その場合は必ず加入の医療保険者が発行する「受診券」と「保険証」を持参する必要があります。

「受診券」は医療保険者への申込が必要な場合もありますので、医療保険者からの通知等で確認の上、早めに「受診券」を取得してください。



明るい街づくりへ

2月17日、東北電力株式会社福島営業所から、竹野所長（写真右）が来庁し、「明るい街づくり」の一環として防犯灯15基を寄贈していただきました。

地域社会の安全・防犯の両面から、明るい街づくりを支援する目的で毎年贈られており、町では町民の要望を聞きながら設置する場所を決めていきます。

2月のできごと

ボランティアの皆さんに感謝！ —イキイキ子育てクラブ閉所式—

2月25日、藤田保育所においてイキイキ子育てクラブ閉所式が行われました。

閉所式は、サークル活動を1年間支えていただいたボランティアの皆さんへ感謝するために催され、親子（19名）がこの日のために練習してきたダンスや歌を、参加したボランティアの皆さん（12名）の前で発表し、大きな拍手が送られました。



練習の成果を発揮して

福島市あづま総合体育館で開催される第6回東北小学生インドアテニス大会に出場する鈴木貴大さん（国見ソフトテニススポーツ少年団、藤田小6年）に、国見町青少年育成町民会議から激励金が手渡されました。

鈴木さんは、第6回福島県小学生インドアテニス大会での好成績により、県代表として出場します。

町職員を派遣します！ —まちづくり出前講座—

町職員等を講師として派遣する「まちづくり出前講座」が3月5日、JA伊達みらい女性部国見総合支部通常総会後に行われました。

講座では、町の保健師が「いかそう健（検）診、防ごう生活習慣病」と題し、町で実施している健診の種類や生活習慣病の予防等について専門的な知識を生かし、わかりやすく説明しました。

※まちづくり出前講座の申し込みは、総務課庶務行革係で受付しています。☎585-2113



情報 暮らしの

募集

国家公務員採用試験

人事院では、国家公務員採用I種試験及びII種試験(大学卒業程度)を実施いたします。
▼〔I種試験〕受付期間は、4月1日(水)～4月8日(水)まで(当日消印有効)、第1次試験は、5月3日(日)に行います。

▼〔II種試験〕郵送による受け付け期間は、4月13日(月)～4月22日(水)まで(当日消印有効)で、インターネットによる受付期間は4月11日(土)～4月15日(水)まで、第1次試験は、6月21日(日)に行います。

◆お問い合わせ
人事院東北事務局第二

課試験係
022-2221-2022
http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyohnm

税務職員募集 (大学卒業程度)

仙台国税局では、税務のスペシャリストとして活躍するバイタリティあふれる税務職員を募集しています。

仙台国税局に採用されると税務大学校で研修を受けた後、仙台国税局管内(東北6県)の税務署に配属されます。

▼受験資格：▽昭和55年4月2日から昭和63年4月1日生まれの方
▽昭和63年4月2日以降生まれの方で次に掲げる方。①大学を卒業した方及び平成22年3月までに大学を卒業する見込みの方。②人事院が①に掲げる方と同等の資格があると認める方。

▼受験申込受付期間：平成21年4月1日(水)から4月14日(火)まで
▼受験申込書の請求：最寄りの税務署、仙台国税局人事第二課又は人事院東北事務局
◆問い合わせ
仙台国税局人事第二課
022-263-1111 内線3236

詠進歌お題は「光」

平成22年歌会始の詠進歌を募集します。

▼応募方法
▽お題を詠み込んだ自作の短歌で一人一首とし、未発表のものに限ります。
▽作品は半紙(習字用の半紙)に毛筆で自書してください。
▽書式は、半紙を横長に用い、右半分にお題と短歌、左半分に郵便番号、住所、電話番号、氏名(ふりがな)、生年月日及び職業を縦書きしてください。
▽郵送の際は、封筒に

「詠進歌」と書き添えてください。
◇応募期間：9月30日まで(当日消印有効)
◆送り先
〒100-8111
宮内庁ホームページ
http://www.kunaicho.go.jp/

お知らせ

水道管漏水発見のためのお願い

町では、毎年専門業者に委託して漏水調査を実施していますが、

すべての漏水を発見するには至っておりません。引き続き貴重な水を無駄にしないため漏水調査を実施し、漏水の発見・解消に努めていきますが、町民の皆様のご協力も不可欠です。もし、道路上などで原因不明の水が流れているなど漏水の疑いのある場所を発見されましたら、上下水道課水道係へご連絡ください。ますようお願いいたします。

◆連絡先
上下水道課水道係
090-2796-5300
夜間休日
090-2796-5300

用水路やため池等で遊ばないでね!

福島県内のため池等で水の事故が相次いで発生しています。このような事故を未然に防ぐため、地域及び家庭内において「用水路やため池等で遊ばない」旨、注意いただけてますようお願いいたします。



◆問い合わせ
建設課建設係
0585-2971

国民年金保険料の免除・猶予制度

国民年金には、免除・猶予等制度があります。免除や猶予を受けないで保険料を未納のままにしていると、年金が受け取れなくなる場合があります。忘れずに手続きをとりましょう!

〔対象者〕
1、全額・一部免除：保険料の納付が困難な方。
2、法定免除：生活保護者及び障がい年金受給者。
3、学生納付特例制度：大学等に在籍している学生。
4、若年者納付猶予制度：30歳未満で保険料の納付が困難な方。
〔必要なもの〕
・年金手帳
・年金証書

書(障がい年金受給者のみ)・印鑑・学生証又は在学証明書(学生納付特例制度のみ)・離職票又は雇用保険受給者証(離職の場合のみ)
◆問い合わせ
東北福島社会保険事務所
年金第一課
0534-0422
住民生活課住民防犯係
0585-2116

～公立藤田総合病院からのお知らせ～
第5回元気セミナー
公立藤田総合病院では、地域の皆様に向けて定期的に“元気セミナー”を開催いたします。申込不要・無料のセミナーですのでお気軽にお越しください。
講師：公立藤田総合病院 在宅ケアセンター所長 松浦弓子
日時：3月26日(木)午後4時～
場所：総合受付前ホール・ジャングリラ
お問い合わせ 地域医療連携課 0585-2121

交通事故発生状況		
1～2月		
	管内	国見
人身事故数	11	5
死者	0	0
傷者	14	7

誕生おめでとう

お子さんの保護者
菅野 進(74) (駅前)
阿部 真也(29) (第3)
佐藤 和子(82) (石母果)
齋藤ハルヨ(89) (山根)
大内 ミツ(78) (駅前)
赤坂貴美子(62) (内容西)
新井 玄龍(87) (並柳)

おんまみ申し上げます

小林 次男(89) (原町)
菅野 進(74) (駅前)
阿部 真也(29) (第3)
佐藤 和子(82) (石母果)
齋藤ハルヨ(89) (山根)
大内 ミツ(78) (駅前)
赤坂貴美子(62) (内容西)
新井 玄龍(87) (並柳)

掲載を希望されない方は、届出の際にお申し出ください。(2月末日までに、当町窓口で受付した方で、住所を有する方を掲載しました。)

第5回「国見町桜のうた」発表会

日時 平成21年4月12日(日)

13時30分開会

場所 国見町観月台文化センター

内容 入選作品披露及び表彰

13時から、ステージミニコンサートなどの催しが予定されており、どなたでもご覧いただけます。お誘い合わせの上、ご来場ください。

催し

- ① ステージミニコンサート…13時～13時30分
- ② 茶席…国見のお菓子とお茶で「ほっと」しませんか
- ③ 国見町の特産品販売

作品展示

入選作品…観月台文化センター等
期間…4月12日(日)～5月6日(水)まで

◆問い合わせ
国見町桜のうた実行委員会
事務局 0585-2927
(企画情報課内)



昨年の表彰式の様子→

平成21年4月1日から
家電リサイクル法の対象機器に
**液晶テレビ・プラズマテレビ、
衣類乾燥機**が加わります!

これまでのブラウン管テレビ、エアコン、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機に加えて液晶テレビ・プラズマテレビ、衣類乾燥機もメーカーによって回収・リサイクルされます。



液晶テレビ・プラズマテレビ



衣類乾燥機

◆問い合わせ
住民生活課住民防犯係 0585-2116

人口と世帯

平成21年2月1日現在
人口 10,312人(-21)

男 4,918人(-9)
女 5,394人(-12)

出生 3人 死亡 8人
転入 7人 転出 23人
世帯 3,254世帯

4月の心配ごと相談

9日(木) 後藤 信雄さん
渋谷 明子さん
23日(木) 秦 カツ子さん
武田 友江さん

・場所 国見町社会福祉協議会
・時間 午前9時～正午

親子映画館「カンフーパンダ」

と き 平成 21 年 3 月 28 日 (土)
 開場 13:30 開映 14:00
 入場料 小学生以上 300 円
 主 催 国見町・国見町教育委員会
 問い合わせ 生涯学習課 ☎ 585-2676

映画「西の魔女が死んだ」

と き 平成 21 年 4 月 19 日 (日)
 開場 13:00 開映 13:30
 入場料 一般 1,000 円 (当日 1,300 円)
 [全席自由] 小中高生 800 円 (当日 1,000 円)
 主 催 国見町・国見町教育委員会、福島民報社
 後 援 国見町婦人会連絡協議会、国見町寿クラブ連合会
 国見町文化団体連絡協議会
 問い合わせ 生涯学習課 ☎ 585-2676



生涯学習

つうしん



国見町公民館
各学級・教室閉講式

国見町教育委員会生涯学習課
 (観月台文化センター)
 ☎(585)2676 FAX(585)2707
 E-mail shogai@town.kunimi.fukushima.jp
 http://www.town.kunimi.fukushima.jp/kangetsudai/

成人学級
 2月13日に閉講式が行われ、学級生30名が参加しました。閉講式後、武田教育長から「学校教育の現状と課題」について講話をお聞きしました。教育振興基本計画では、義務教育終了までにすべての子どもに自立して社会で生きていく基礎を育てることや、社会全体で子どもを育てることを知りました。また、国見町では、変化

の激しい時代を生きるのに必要な力を育成するため、適正規模の学校を作る大きな課題に直面していることなどのお話を聞くことができました。



▲講話を熱心に聴く教室生



▲少年仲間づくり教室「仲間づくりリーダー」

藤田つ子わんぱく広場

2月25日、わんぱく広場の閉所式は、藤田小学校の体育館で130名の児童が参加して行われました。最後の活動は、国見民話の会の皆さんに昔遊びを教えていただき、子ども達は、「お嬢さん、お入り」や「ハンカチ落とし」など新鮮な昔遊びに歓声をあげていました。閉所式では、「思い出に残る作品」をお互い

今年度は、教室生26名が体験活動を中心に学習しました。また、中高生ボランティア「仲間づくりリーダー」4名が参加しました。2月28日の閉講式では、1年間無欠席の7名に皆勤賞が贈られた後、1年を振り返り教室生とリーダーから作文の発表がありました。その後、最後の学習「マジック教室」では、斎藤久男氏(斎藤久男奇術研究所)により、割り箸や新聞紙、ハンカチを使ったマジックを教えていただきました。



▲昔の遊び「ハンカチ落とし」を楽しみました

に見せ合い、これまでの活動を見守ってくださった地域の方々感謝しました。

行事のお知らせ

《4月》

- 6日(月) 休館日
- 19日(日) 映画「西の魔女が死んだ」
- 23日(木) ブックスタート
- 24日(金) 成人学級閉講式
- ※「家庭の日」(毎月第3日曜日)は、観月台文化センター入浴施設の料金が小中学生に限り無料となります。

阿津賀志学級

2月27日、104名の学級生が出席して行われました。式では、公民館長から、休まず学習に参加した12名に皆勤賞、11名に精勤賞が授与されました。交通安全関係の学習に参加した29名には、交通安全大学長である町長から、交通安全大学証が授与されました。桑折警察署長からは、交通事故防止に努めるようご祝辞をいただきました。更に交通事故防止に努めるようご祝辞をいただきました。

○皆勤賞(敬称略)

角田昭子、高橋昭子、唐見キイ、三の輪久美、秦 美子

○精勤賞(敬称略)

富野マズミ、佐久間恭子、太田栄子、高野キミ子、安彦フサ、吉田ウメ、羽根キツ、内池育男、藤田和代、佐藤トシエ、



観月台文化センター
 多目的スペース作品展示
 ◇国見町パッチワーククラブ作品展
 ・3月9日～3月28日
 ◇時間：午前9時～午後5時
 ◇主催：国見町文化団体連絡協議会

小坂地区 家庭教育応援講座

2月14日、小坂農村総合管理センターで親子40名が参加し、「親と子のコミュニケーション」をテーマに開催されました。最初に、国見民話カルタ作者の内池和子さんから、小坂に伝わる昔話を伺い、大人も子どもも共にカルタ大会で盛り上がりました。その後、子ども達は絵本や折り染めを楽しみ、大人



▲盛り上がった国見民話カルタとり

は親業訓練インストラクターの市川誠子先生から「聴く」、「話す」、「しぐさ」をみる」ことの大切さを教えていただきました。

宝くじ文化講演会

2月15日、宝くじの収益金を受けて、宝くじ文化講演会が開催されました。講師に、スポーツキャスターで元大相撲力士の舞の海秀平さんを迎え、「可能性への挑戦」と題して講演していただきました。現在の相撲界の事や、新弟子検査では身長が規定に足りなく、頭にシリコンを埋め込んだエピソード。また、元横綱曙との対戦で金星を挙げた一番などを披露され、「どんなことにもあきらめずに挑戦することが大事である。」と熱く、時折ジョークを交えながらお話されました。満員の会場からは大きな拍手が起こり、大変有意義な講演でした。

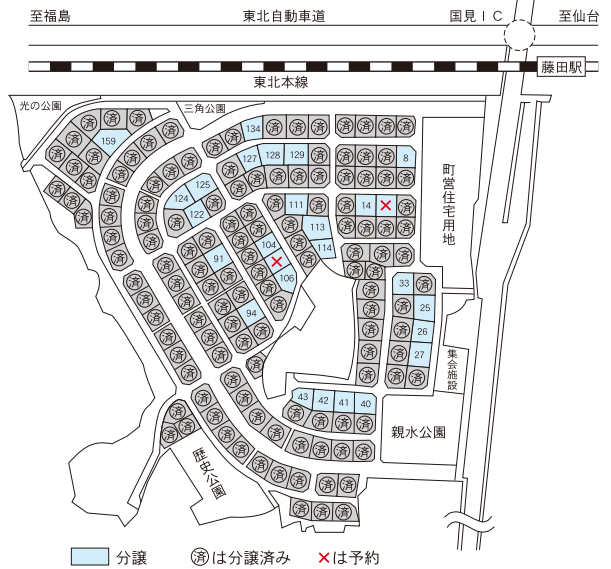
2月18日の最終学習は、商工会女性部の東海林美智子部長ほか2名より「暮らしを彩るふるしき」と題して、マイバック運動の推進と、レジ袋を減らしエコにつながる風呂敷包みの指導を受けました。一枚の布が物を包むことで、バリエーション豊かにインテリアや贈り物に暮らしを彩ることを学び、生活を見直すことができ、大変有意義な学習会となりました。

くみに女性教室

2月18日の最終学習は、商工会女性部の東海林美智子部長ほか2名より「暮らしを彩るふるしき」と題して、マイバック運動の推進と、レジ袋を減らしエコにつながる風呂敷包みの指導を受けました。一枚の布が物を包むことで、バリエーション豊かにインテリアや贈り物に暮らしを彩ることを学び、生活を見直すことができ、大変有意義な学習会となりました。



▲エコを考え風呂敷包みに取り組む教室生



3拍子揃った自慢の宅地!!

- 低価格!!**
- 交通の利便性とすぐれた立地条件!!**
- 上下水道完備!!**
- 分譲斡旋報奨支給**
分譲斡旋を頂いた方へ1区画あたり50万円の報奨金が支給されます
- Uターン新築等奨励金**
新築家屋と土地の固定資産税相当分を交付(1年分)

よりお求めやすく国見町が強力バックアップ!

支払い条件 契約時10%、残金は3年以内の分納可 ※建築業者の指定や建築期限等はありません

- 5年間の利子補給制度**
1千万円を限度に、2%について5年間補給します。
- 3区画限定最大20%OFF**
※条件あり
- 遠距離からの現地見学者交通費助成制度**
※首都圏等の条件あり。詳しくはお問い合わせ下さい。

25区画分譲中

国見町企画情報課

kikaku@town.kunimi.fukushima.jp

☎585-2927

着実なる前進 安心確實の分譲地

平成11年度に162区画の分譲開始以来、毎年着実に販売を進め、既に137区画を分譲、残り25区画となりました。厳しい経済状況のもと、緩やかながら着実なる前進が図られています。国見ニュータウンの恵まれた環境と安心によるものと考えられます。既に110世帯を超える方々が移住され、うち半数以上が他県、他市町村から移り住まれた方で、定住化構想も前進しております。「国見町が国土交通省の補助のもと、しっかりと造ったものだから、安心さらに格安」このことを大切に、既に入居されている方をはじめ多くの皆様に信頼・支援されるよう努めてまいります。



国見ニュータウン

大木戸小学校

小さな大木戸たち

PRINTED WITH SOYINK 印刷物は「大豆インキ」を使用しております。

編集発行

国見町

〒969-1179
福島県伊達郡国見町大字
藤田字一丁田二の1
TEL 024-585-1211
FAX 024-585-1211
E-mail kikaku@town.kunimi.fukushima.jp
URL www.town.kunimi.fukushima.jp



5年 松浦 真美
「ふしぎな まち」

3年 高橋 香澄
「雨の日のパーティー」



1年 後藤 哲太
「スーパーホテル」